

求められる 4 つの機能の整理

国立の「文化財修理センター(仮称)」では、修理のナショナルセンターとして、

① 情報集約と共有を含む修理推進

② 調査研究

を着実に実施するための修理・研究体制を構築するとともに、

③ 人材育成

④ 情報発信 (普及啓発)

により日本の修理文化の継承と国内外への発信を進め、中長期的に持続可能な保存・活用サイクルを実現。

①修理推進

全国の修理を促進

修理センター

専任職員

- ・ 要修理案件の掘り起こし
- ・ 相談受付
- ・ 計画・資金調達の支援
- ・ 施工後の経過観察とアフターケアの支援
- ・ 専門家として修理事業に参画
- ・ 記録等の作成支援
- ・ 記録等の集積とアーカイブ化
- ・ ネットワーク形成.....等

併任職員

選定
保存技術
保存団体等
による
全面的な
参画

民間修理工房

- ・ 仕様・見積の作成
- ・ 修理の施工
- ・ 修理記録等の作成・提供
- ・ アフターケアの施工
- ・ 需要掘り起こしの支援
- ・ ネットワーク参加.....等

文化庁

調査官

- ・ 国指定品修理の促進
- ・ 国指定品修理への指導助言
- ・ 各種補助事業の推進

その他機関

技術者工房

修理工房

各国立博物館・文化財研究所

研究員

- ・ 各施設の業務に伴う要修理案件の掘り起こし
- ・ 専門家として修理事業に参画

修理所・修理施設

修理指導室

- ・ 各施設の業務に伴う修理の統括
- ・ 専門家として修理事業に参画

修理工房

- ・ 各施設の業務に伴う修理の施工

②調査研究

文化財修理技術や用具・原材料に関する課題解決

修理センター

専任職員

- ・全体像の把握 + 課題抽出
 - ・理念と技術 / 用具・原材料
- ・課題のリスト化
- ・課題解決の優先順位付け
- ・各種調査研究のプランニングと統括
- ・研究成果の集約・共有
- ・用具・原材料の確保
- ・ネットワーク形成.....等

併任職員

選定保存技術保存団体等
による
全面的な
参画

民間修理工房

- ・情報提供
- ・調査への協力
- ・用具・原材料の確保
- ・ネットワーク参加.....等

文化庁

調査官

- ・選定保存技術の拡大
- ・各種補助事業の推進

その他機関

技術者工房

修理工房

各国立博物館・文化財研究所

研究員

(人文系)

- ・専門家として各種調査に参画
- ・修理で得られる新知見の活用

(保存科学系)

- ・専門家として各種調査に参画
- ・各種課題解決のための個別研究
 - ・伝統的技術の優位性についての研究
 - ・伝統的材料の優位性についての研究
 - ・代替材料の研究
- ・調査研究成果の活用